

まるごみ'11 in 甲府 事業報告書



まるごみ'11 in 甲府 ~100年たっても地球(あなた)となかよし~

2011年5月28日(土)

朝9~11時・ゴミ拾い

午前11時~東日本大震災東北支援物産展&復興支援イベント

旧 穴切小学校にて開催

<まるごみ山梨実行委員会>

山梨県甲府市飯田3-5-6 杉の子ハイツ 102

TEL: 055-288-0035 FAX: 050-3488-1886

E-Mail 053yamanashi@gmail.com

公式サイト: <http://print-man.jp/ur/marugomiyamanashi/>

1. 事業の名称 まるごみ '11 in 甲府 ~100年たっても地球(あなた)となかよし~
2. 実施年月日 平成23年5月28日(土)朝9~11時・ゴミ拾い(雨天の為規模縮小)
午前11時~東日本大震災東北支援物産展&復興支援イベント
3. 実施場所 ゴミ拾い:旧穴切小学校グラウンド内及び周辺
イベント:旧穴切小学校体育館及びグラウンドの一部
4. 主催 まるごみ山梨実行委員会(NPO法人U-PROJECT)
5. 後援 甲府市観光協会/エフエム 富士/エフエム 甲府/山梨日日新聞/山梨放送/テレビ山梨
6. 協賛 株式会社アムズデザイン/デンタルサポート株式会社/株式会社スーパーやまと/株式会社GEN/有限会社 樋口印刷/株式会社 光新宝飾/神戸牛のうし奥/他
7. 協力 相生地区自治会/穴切地区自治会/春日地区自治会/明友館(石巻市)/株式会社フードプランニング(福島)/岩手県産株式会社/株式会社ファーストオンステージ/株式会社SnapDragon/if-team/甲府ホテル/特定非営利活動法人 山梨県ボランティア協会/株式会社 共同開発/株式会社AST/有限会社貌制作事務所

8. 事業実施概要

< 清掃美化運動 >

まるごみの理念となる子供達が安心して遊べる「ええまちづくり」のため、意識を変えるきっかけ作りの賛同・参加型のゴミ拾いとして、2008年に千葉県浦安市在住のDJ KOUSAKUの掛け声でその産声をあげた一大環境ムーブメント「まるごみ」。昨年まるごみ実行委員長にアルピニストの野口健氏を迎え、千葉県内54市町村・7万人の参加で約90tのゴミを拾い集めました。来年に向け山梨でもまるごみを立ち上げていこうとしていた矢先の3月11日・東日本大震災が発生。直後からまるごみのネットワークを生かした支援チームを立ち上げ、現在も被災地へ支援物資の運搬などを行う中、現地の方々の「売るものと売りたい気持ちはあるけれど売る場所がない」との声をお聞きしたのがきっかけで、急遽ではありましたが今回の甲府イベント開催に至りました。

あいにくの雨天により、当初予定していた甲府市内でのゴミ拾いは中止となりましたが、集まった小学生や大人を中心に環境意識を高めるため、会場である旧穴切小学校グラウンド内やその周辺を小規模ではありましたが清掃活動を行いました。 結果:子供20人、大人10人の参加で 燃えるゴミ(45L) 5袋/燃えないゴミ(45L) 2袋

< 東日本大震災・支援イベント >

体育館内ではイベント開始時に御来賓の方々や、出演者の方々、さらにまるごみ山梨子供実行委員会のメンバーと共に、東北からお越しいただいた皆様へのおもてなしセレモニーを実施。司会進行から東北のみなさんへの手紙など、すべて子供たちの進行で心温まるセレモニーとなりました。

物産展では、宮城県石巻市から5社、福島県福島市から1社、岩手県気仙沼市から1社の物産を取り寄せ、さらに宮城県、福島県からは実際に被災した会社の経営者自らが出店販売。

地域の自治会、育成会、子供クラブ、山梨県ボランティア協会などが中心となり、小学生・中学生・大学生の学生ボランティアの参加で出店のサポート(お手伝い)や地域の小学生ら有志で出店看板を作るなど、東北の方々との交流を深めました。大盛況のうち、売り切れ店が多くみられ、支援に繋げることができました。

そして甲府も元気になろう!ということで地元からの出店も行い、とりもつやほうとうスナックの出店、

さらにメッセージコーナーや募金コーナーでは来場者にポップコーンを振る舞うなど賑わいを見せました。出展では、チームまるごみとしてこれまでの復興支援活動の軌跡の写真展を行ったり、また山梨県内で積極的に環境活動を行う2団体に温暖化防止や環境保護にまつわる展示を行っていただきました。ステージでは、空き350のアルミ缶を如何に小さく踏み潰すかを競うカンクラッシュトーナメント決勝や、千葉県のおさこいチーム・維新心一つの演舞、また岩見銀山の記念式典演奏やアニメNARUTOの曲を手掛ける尺八奏者「きのはち」を迎え甲府から東北へパワーを送る演奏を披露、メインイベントとして、いじめ撲滅全国行脚を行うプロレス団体「ZERO1」を迎え、甲府から日本に元気と想いを届ける試合を行いました。

参加された方からの声として「募金はしたけど実際にこの目で支援に繋がることを自分のできたんだなと思えたのでよかった」「家族みんなで一つのことに取り組むことがなかったので、とても有意義な時間を過ごせました」「東北の方と実際に交流できて逆に勇気をもらいました」「ゴミのことはもちろん、環境のことに意識が向くようになった」「プロレスを初めて見てとっても元気をもらい大好きになりました」などの嬉しい感想が多数届きました。また同時に「どうやって参加すればいいのかわからなかった」「雨天の変更の案内を詳しく書いてほしかった」「外の出店だけしかまわれなかった(体育館で何が行われているのか知らなかった)」などの反省材料としてのご意見も頂きました。まるごみ山梨実行委員会としてはこのような貴重なご意見を元に課題を整理し改善を図り、より多くの方に参加していただくために、またより多くの“気づき”が得られ実際に動き出すキッカケとなるような印象深いイベントを今後も制作・運営していきます。目指すものは「ええ街づくり」、そして「ニッポンまるごとゴミ拾い」さらに「東北復興支援」。これらを実現すべく、これからも皆さんと共に歩み続けます。

9. 参加者数

イベント： ボランティアスタッフ 180名、出演者関係 42名、一般参加者延べ 1000名、合計名 1222名
出店団体数(東北) 7団体
出店団体数(甲府・関東) 6団体
出展団体数 3団体
出演者 3組(プロレス含む)

10. イベント総括

「東日本大震災による被災地の物産への復興支援」

野外出店・東北

【福島・フードプランニング】

喜多方ラーメンの販売、エゴマ豚の豚串焼きの販売、フードボックスの販促PRを行っていただきました。会社からは2名のスタッフが当日甲府入りし、ボランティアスタッフとして穴切地区婦人部・愛育会の皆様や大学生ボランティアの方々にもお手伝いいただき当日は福島中央テレビの収録も入り、大盛り上がりを見せました。

【(株)喜栄】

東北土産ではおなじみ、ここでしか作っていないという幻の「かき飴」の販売、さらに社長自ら名物石巻やきそばをつくり販売しました。最近メディアにひっぱりだこである今野社長ご自身が焼いていることもあってか、石巻やきそばは即完売。今回キッチンカーをご提供くださったA-TRACKチームもまるごみと共に被災地支援に出向く仲間ということもあり、笑顔で販売していらっしゃいました。

野外出店・甲府／関東

今回、甲府の出店に関しましては売上の20%を東北支援の支援金とさせていただきます
ご協力ありがとうございました。

【みなさまの縁をとりもつ隊】

ご存知、B-1 グランプリ優勝を機に甲府名物として一躍有名になったとりもつ。

そんな本家とりもつ隊がまるごみに出店。あっという間に完売してしまい、「もう終わっちゃっただけ？」というお客様からの声を多く聞きました。

【とーる亭】

南アルプス市から有名店が出店。

メンチカツはとってもジューシーでスタッフからも大人気でした。

さらに変り種のトマトコロッケも若い女性に人気でした。

【ごちそう屋】

駅前にある話題のイケメン店長がいる居酒屋からの出店。

お店の名物ほうとうスティックやサターアンダギー、そしてカキ氷は売り切れてしまったため急遽調達、増量しての販売となりました。

【(株)AST】

神奈川県からの出店。

マシュマロチョコレートは子供に大人気の一品。

肌寒い当日には焼き芋やホットコーヒーにスタッフもあたためてもらいました。

店員さん4人のうち3人が元アイドルといった多彩なお店でした。

【(株)Snap Dragon】

知る人ぞ知る、日本初(?)のボランティア出店。

材料費を除く売上のすべてを毎回環境活動や復興支援に寄付をしている団体です。

今回はきゅうりの一本漬けと居酒屋ダンボ監修の牛すじ煮込みを販売しました。

【レバンテ】

お姫様になったような気分を味わえる日用品雑貨を取り扱うお店から、今回唯一の雑貨を出店。

キッチン用品から日用雑貨などすべてがかわいらしい品々をお店の代表にセレクトしていただき

館内を明るい雰囲気にしてくれました。やはり女性のお客様が圧倒的に多かったお店です。

体育館内出店・東北ゾーン

【岩手県産株式会社】

おもに乾物(お菓子などのお土産品)を販売しました。当日は岩手からはお越しいただけなかった為、

今回の出店のスペシャルアドバイザーであるスーパーやまとの小林久社長が自ら店頭立ち、

お店のすべてを引き受けてくださいました。小林社長と共にボランティアスタッフとして大学生が

販売を盛り上げてくれました。

【潮風商店】

三陸わかめやとろろ昆布、ひじきやのりなど海産物を販売。

試食も充実していて子供たちの人気店となりました。

ボランティアスタッフとして育成会の父兄のみなさんや小学生自身が自ら店頭立ち、

販売の呼び込みを行いました。

【未永海産株】

かきみそや塩蔵わかめなど、今回このイベントのために中古の機械を購入し、1ヶ月あまりの短期間で品物をつくってきました、と笑顔でおっしゃっていらっしゃいました。さらに「宮城・石巻に底力を！」と題した復興グッズも用意し、子供たちにシールを配布するなど交流を深めました。学生ボランティアスタッフもお店の方との交流を深め、やさしい店主（おじさん）でよかった！と大喜びでした。

【タツミ食品】

わかめやとろろ昆布の販売を行いました。

特にわかめは大人気でした。

こちらでも小学生ボランティアが大活躍、大きな声でいらっしゃいませ～、いかがですか？の声が体育館内に広がっていました

【(有)風月堂】

宮城県の名物ずんだを使っただんごや餅、ケーキなどを販売。さらにササニシキを使用したアイスは子供たちに大人気でした。雨が降り気温も高くなかった為、アイスの販売に不安の声もありましたが、寒くてもアイスは大人気で子供がカップを持っておいしそうに食べている姿が印象的でした。食べ終わったあとは販売のお手伝いをするなど、笑顔の多いお店となりました。

体育館内・出展ゾーン

【NPO 法人 U-PROJECT / チームまるごみ】

代表の KOUSAKU を始め、チームまるごみのメンバーが3月16日から行ってきた東北への支援活動の様子や現地の状況などを写真展として展示。多くの方に東北、被災地の現状を知っていただくことと少々辛い写真もありましたが展示いたしました。来場者の皆様には心に深く刻まれた写真となったようでした。

【NPO フィールド 21】

本来「まるごみ」は環境イベントということと、震災と温暖化の影響は少なからずあるのではないかと、この思いから環境に携わる NPO の皆様にもお声がけをしました。そんな中、快く出展してくださったのが NPO 法人フィールド 21。こちらの団体は行政と連動し、地球温暖化防止を取り組んでいらっしゃる力強い団体。

当日は主に太陽光発電についての展示をしていただきました。今後も環境のことについて教えていただきながら連携を図っていきたいです。

【NPO みどりの学校】

地球温暖化防止、自然エネルギーの利用など様々な環境学習を学べる展示を行っていただきました。

こちらも環境学習について熱心な団体だったので今後とも連携を図っていきたいです。

1 1 . 準備活動など

実行委員会会議(全5回)

連絡調整委員会開催(2回)

仕込み5月28日当日朝

告知

<ホームページ>

制作協力：樋口印刷

<ラジオでの前告知>

エフエムフジ番組出演での告知

< テレビでの事前告知・報道 >

NHKニュース番組

< テレビでの当日告知 >

YBS 山梨放送「山梨プロデュース」中継・生放送

< 紙媒体による告知 >

山梨日日新聞でのインタビュー掲載(2日間)

山梨日日新聞折込みチラシ 3万5千部

< 企業協力による告知 >

各企業の出している情報誌：スーパーやまとチラシ

< ポスターによる告知 >

甲府市役所館内、各自治会掲示板、各自治会回覧板、甲府市内公民館、行政施設、
山梨県内の飲食店・企業の店頭、など

1 2 . 収支について

別紙

1 3 . 支援金について

出店者からの支援金(売上の20%を支援金としていただきました)

¥47,498 -

募金(ポップコーン&メッセージカード提供:千野様)

¥13,255 -

合計 ¥60,753 -

こちらの合計金額をNPO法人U-PROJECTを通じて被災地への支援金とさせていただきます。

1 4 . 反省・そして次回のテーマ

事務局としての反省点です。反省会を兼ねた会議は後日行う予定です。

当日手伝いに来てくれたボランティアスタッフに何をしてもらうかの支持をできない所があった

雨が降ってしまい、朝、とてもバタバタしてしまった

会議で雨対策の話し合いをもっと強化すべきだった

タイムテーブルがなくわかりづらかった

NPOの出展などが(場所的に)わかりづらかった。もっとインフォメーションすればよかった

スタッフの食事が思いのほか足りず、食事スタッフに迷惑をかけてしまった

体育館内への促し、放送ができなかった

次回開催に関して提案など

チケット制・有料にしてもいいのでは?

せっかくのバイオマス技術を駆使したゴミ袋だったのに事前告知がされておらずもったいなかった

協賛金集めをもっと強化していかないと続かないのでは?

雨が降っても大丈夫な場所はないのでしょうか?

まるごみ山梨・写真館

~5月27日(金)~



今から石巻を出発しま~す

2011年5月27日(金)
今回イベントに出店して
くださる方々を石巻市「明友館」へお迎えに
行きました



今野社長軽快な運転

まるごみの前夜、遙々山梨へお越しの方々と親睦を深めるためにささやかながら歓迎会を開きました



舞鶴小学校・元PTA会長松本さんのご発声



甲府名物をズラリ



ZERO1・大谷社長の熱いメッセージ

~5月28日(土)~



朝から雨がパラついて、甲府市内のゴミ拾いは残念ながら中止になってしまいました。そして会場も舞鶴小学校から旧穴切小学校の体育館へと変更。朝一でボランティアの皆さんとミーティングを行い各自作業に入った

まるごみ当日は朝から雨模様・・・ゴミ拾いは中止に・・・

新聞社、テレビ局、ラジオ局マスコミも結構きてくれました。こちらはYBS「山梨プロデューズ。」さんのカメラクルーの皆さん。生放送で中継・レポートしてくださいました。雨の中、ありがとうございました！



テレビの生放送中継も入りました~



慌てず騒がず、甲府の結束力であったという間に雨天使用のイベント会場が出来上がり



各お店は大盛況！！



石巻ヤキソバは2時間で完売！！



子供達に勇気をくれたプロレス



あいにくの天気となった
5月28日だったが
大盛況のうちにイベント終了。

そして後か片付けも
自治会・学生ボランティア・子供クラブと最後まで
力を合わせ、一つになって
行った。

山梨

被災3県特産バザー
東日本大震災で被害を受けた岩手、宮城、福島3県の特産物を販売するバザーが28日、甲府市宝の旧六切小学校体育館で開かれた。収益金の一部は、被災者に送る生活用品の購入に充てるといふ。千葉県を拠点に活動するNPO法人が主催した。12店が出店し、訪れた人たちは宮城県石巻市のワカメや福島県喜多方市の喜多方ラーメンなどを買い求めていた。

「売る場所ない」悩み聞き…

甲府市宝の28日行われた「まるごみ」イベント「まるごみ11」甲府」で、東日本大震災で被災した東北地方の業者が特産品を販売する物産展が開催された。出店者の中には客足が途絶えたり、店の設備が壊れるなどとして、今後の営業にめどが立たない業者もおり、「商品を購入するのとて少しでも復興に役立てられれば」という家族連れなどでにぎわった。「まるごみ」は08年、山梨から東日本大震災

被災地の特産品販売



風月堂のアイスクリームを贈る女の子(右)＝甲府市宝2で

甲府市宝の28日行われた「まるごみ」イベント「まるごみ11」甲府」で、東日本大震災で被災した東北地方の業者が特産品を販売する物産展が開催された。出店者の中には客足が途絶えたり、店の設備が壊れるなどとして、今後の営業にめどが立たない業者もおり、「商品を購入するのとて少しでも復興に役立てられれば」という家族連れなどでにぎわった。「まるごみ」は08年、山梨から東日本大震災

当時は東北地方の業者が特産品を販売する物産展が開催された。出店者の中には客足が途絶えたり、店の設備が壊れるなどとして、今後の営業にめどが立たない業者もおり、「商品を購入するのとて少しでも復興に役立てられれば」という家族連れなどでにぎわった。「まるごみ」は08年、山梨から東日本大震災

28日は雨天のためごみ拾いは中止となったが、物産展会場となった旧市立六切小(現市役所次切飯庁舎)には被災地の宮城県と福島県から7店が出店した。

そのうちの1つ、宮城県、佐藤恵昭社長の妻、みつ子さん(62)は「少しでも買ってもらって本当にありがたい」とほっとした様子。KOUSAKUさんは「今後もごみ拾いを続けていきたい」と話していた。

甲府で東北復興支援イベント

海産物や特産品販売

東日本大震災で被災した東北地方の特産品を販売するイベント「まるごみ」が、28日、甲府市宝の旧六切小学校体育館で開かれた。収益金の一部は、被災者に送る生活用品の購入に充てるといふ。千葉県を拠点に活動するNPO法人が主催した。12店が出店し、訪れた人たちは宮城県石巻市のワカメや福島県喜多方市の喜多方ラーメンなどを買い求めていた。

被災地の農産物や全国の食材を販売する「まるごみ」が、28日、甲府市宝の旧六切小学校体育館で開かれた。収益金の一部は、被災者に送る生活用品の購入に充てるといふ。千葉県を拠点に活動するNPO法人が主催した。12店が出店し、訪れた人たちは宮城県石巻市のワカメや福島県喜多方市の喜多方ラーメンなどを買い求めていた。



- 甲府会場 0557-231-3111 FAX 231-3161
- 神中支店 0556-780-3330 FAX 280-3231
- 新東支店 0553-72-0338 FAX 23-2158
- 新南支店 0556-72-5431 FAX 22-5432
- 神北支店 0551-722-0136 FAX 22-0158
- 富士吉田支店 0555-524-1000 FAX 23-0997
- 新橋支店 0554-46-8800 FAX 46-8800
- 大月支店 0554-725-0477 FAX 23-0304
- 上野原支店 0564-663-4830 FAX 63-4770

